TOKACHI TOYAMA FARM
食卓に笑顔の種を届けたい
ANNIVERSARY 1917-2017

土の香り

No.33　2018年

ホームページ
www.toyama-nojo.net
お電話、FAXでのご注文・お問合せ
電話＆ファックス　0155-60-2110

編集発行:とやま農場　〒080-2106　北海道帯広市美栄町西6線128番地　携帯　090-1648-2100

初めまして、外山 桂菜(けいな)です。

3月25日に2,998gの元気な女の子がわが家にやってきました。この記事の編集に合わせて写真等を整理することで、あっという間の5ヶ月をようやく振り返る事ができたほど、家族の中心がそれぞれの日常の事から桂菜中心になっていました。これから生まれ育つ故郷を忘れず、どこに行っても地に足のついた子になって欲しいと願い、自然(木や土)に囲まれ、豊かに農産物(野菜など)が育つこの土地の事を名前に込めました。産まれてからは生活がガラッと変わり祖父、母も巻き込んで一家総出で子育てに農作業、宿泊ゲストの対応とせわしなく活動しています。「子は宝」。以前に増して家には笑いが増えました。5ヶ月の間に多くの国内外からのゲストにも笑顔を振りまき、一生懸命に赤ちゃん語でコミュニケーションを取る国際人です。（親バカです）入植101年目のうれしい歴史。家族一同今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

代表　外山　隆祥

一家4世代ひとつ屋根の下

生後3週間の姿を残すニューボーンフォト

５ヶ月で6.8kgに成長中

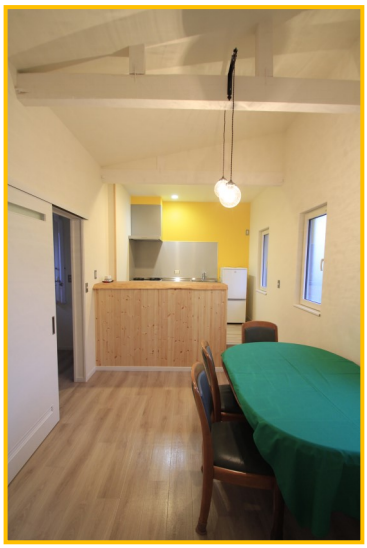
娘＆息子に囲まれて

めでたく米寿を迎えました

３月２０日に満８８歳を迎える徳男の米寿を祝おうと１月下旬、子、孫、ひ孫総勢１７人が集いました。武勇伝は何と言っても６０代に訪ねたスイスでのスキー体験３男の徳男が父としてまた２代目として農場を発展させたこれまでの尽力に感謝のひと時でした。
これからも元気でいて下さい。

FARMINN Bieiオープン

２０１６年より営業を始めた農家民宿「Route55」に続いて、築３８年の納屋を改装した簡易宿所「Biei(ビエイ)」が８月から営業を始めました。丘の町で有名な上川郡美瑛町より先人達が二次入植しこの地を美栄と名付けました。多くの方にここを訪れて欲しいと願い地名を施設名にしました。
寝室に加え、キッチン、お風呂、トイレが付いており友人や家族と水入らずで長期滞在でも過ごせる空間です。
採れたて野菜、広大な農地、満天の星空、静寂、五右衛門風呂etc.農村ならではの暮らしをお楽しみ頂けます。お一人から６名様までご利用可能です。
皆様のお越しを心よりお待ちいたしております。
お問い合わせは、Airbnbサイト又は農場HPから承ります。



お陰様で家族一同 元気にしています

徳男（88）週１度のデイサービスと訪問体操で健康維持に努めています。愛犬の餌やりと桂菜の子守が日課です
聖子（59）農家民宿のゲスト（海外客9割）との関わりは、自国日本を顧みる絶好の機会になり楽しみの一つです
暁子（37）初めての育児は驚きと感動の連続！日々新鮮な気持ちになります。同居家族のありがたさを実感
隆祥（32）妻からの愛娘への育児参画と親からの作業進度のプレッシャーの狭間で不器用な父をやっています
剛士（30）島根県隠岐の島で漁師。休日は畑で野菜栽培や釣り＆素潜り漁を楽しみ島の豊かさを満喫しています
佳裕（28）農業資材の営業の傍ら登山、釣り、クッキングが趣味。10月には初フルマラソンに挑戦、目下調整中
晶浩（26）ｷｬﾋﾟﾗｰ勤務で重機の整備担当。ものづくりを得意とし桂菜の誕生にベビーベッドを手作りしました
美利河（25）仕事はほどほど？に、特技を生かして各種デザインコンテストに応募。書道では初入賞し実力を発揮
桂菜（5か月）外山家58年ぶりの女子です。母乳と布おむつで日々成長し、寝返り練習に奮闘しています

５月ゴールデンウイークに全員集合
上段左から隆祥、剛士、聖子、美利河、佳裕
下段左から晶浩、徳男、暁子、桂菜

共に生きていくことを誓った２人
衣装選びにも時間を費やしこの一着に

外山家親族に囲まれて
徳男はハプニング、佳裕はインフルエンザにより急遽出席ならず、、、

☆四男晶浩が結婚式を挙げました☆

２０１６年の冬至に入籍した２人は２月１０日美利河の母校である東京の国際基督教大学（ICU）で挙式＆結婚披露宴を執り行いました。構内は満開の梅が咲き、歓迎ムードに包まれました。
挙式は大学のチャペルで、披露宴は同食堂にて友人やお世話になった方々、親族が見守る中行われました。２人はこれまでお世話になった皆様へ感謝の気持ちを形にしたいと仕事の傍ら東京にも何度か足を運び準備を進めました。高砂や各テーブルには手作りしたアジサイのドライフラワーの上に、白樺とホオズキをローソクに見立てて飾りました。ビュッフェ形式の食事は『２人ゆかりの食卓』として、当農場産のふかし芋３種、フライドポテト、北海道郷土料理のいもだんごや豆料理、十勝産小麦100%使用のバゲット等を用意。さらに２人の母校（山形にある基督教独立学園）の定番料理である「大豆の揚げ煮」に同県の郷土料理「芋煮」等々も。大学食堂の絶大なるご理解とご尽力があったからこそのメニューの数々でした。

　余興では高校の恩師、武義和先生作曲の祝婚歌“インマヌエル 主がともにおられる”を先生のピアノ演奏と指導により、新郎＆新婦と参加者全員で大合唱。２人の門出に花を添えて頂きました。これまでもこれからも２人が今こうしていられるのは、関わって下さる多くの皆様のご支援、ご鞭撻の賜物と改めて感謝感謝のひと時でもありました。
今後とも２人をどうぞよろしくお願いいたします。（聖子）

Facebookも更新中！

現在９６６いいね！(8月31日)
１０００いいねを目指しています。
FBページではよりタイムリーな
農場の情報をお届けしています。

編集・発行　とやま農場　外山隆祥
〒080-2106
帯広市美栄町西6線128番地
Tell&Fax 0155-60-2110
メール info@toyama-nojo.net

編集後記

９月６日３時８分頃大きな揺れで目が覚めた。震源は何処か？道内唯一の原子力発電所である泊原発の被害がありませんように！と願った。道内全域の大規模停電となり当地は通電までに４５時間を要した。じゃが芋の収穫シーズン只中故に受け入れ工場がストップし多少の影響はあったが、酪農家は搾乳ができずにまたできても工場が止まり廃棄を余儀なくされる等電気の存在の大きさを痛感した。震度７の揺れを観測した地域では土砂崩れ等など甚大な被害となった。ただただお見舞い申し上げます。せめてもの救いはこれが氷点下の真冬でなかったこと。。
非常時に対する暮らしの課題も明確にされ備えを強化したい。地震のたびに第２、第３の福島にならないかと怯える暮らし、せめて孫の時代には解消されることを切望している。　聖子